

夏秋どりネギの新品種 ‘大地の響き’

1 新しい品種の内容

(1) 背景・目的

白ネギの夏秋どり品種として県内で用いられている‘夏扇パワー’（サカタのタネ）は、肥大性が優れるが、夏季の高温で欠株しやすいといった問題点がある。新品種 ‘大地の響き’（トキタ種苗）は、品種比較試験の結果、弓浜砂丘地域の8～10月どり作型において、夏越し後の残存率が高く、‘夏扇パワー’と同等もしくはそれ以上の収量性を有することから、今後の普及が望めるため、有望品種として紹介する。

(2) 品種 ‘大地の響き’ の要約

1) 以下の栽培型に適する（図1）。

① 1月下旬～2月上旬播種、3月下旬～4月上旬定植、8月～9月中旬収穫

② 2月中旬～3月上旬播種、4月中旬～5月上旬定植、10月～11月上旬収穫

2) 盛夏期の欠株が少なく、生存株率が高い。

3) 肥大性に優れ、L～2L規格中心によく揃う。

4) ‘夏扇パワー’と比較して、襟部の締まりが良く、品質が優れる。

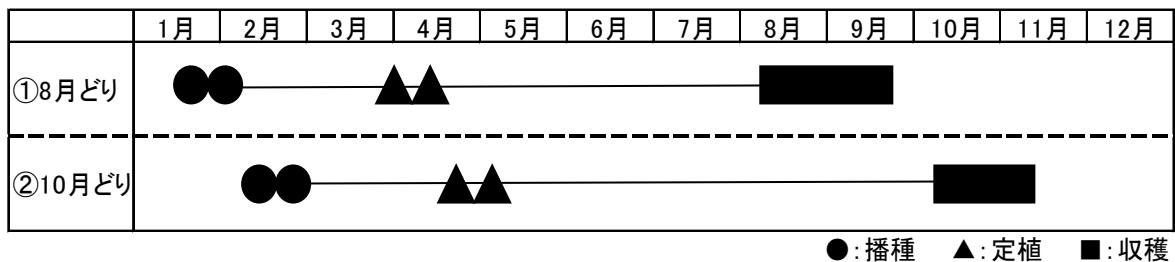


図1 ‘大地の響き’ の適作型(200穴セルトレイ育苗、4粒、株間10cm、条間1m)

2 試験成果の概要

(1) 生育特性

‘大地の響き’は、肥大性が優れ、‘夏扇パワー’と同等もしくはそれ以上の葉鞘径、一本重となった。併せて、夏越し後の残存率も高かった（表1）。

(2) 収量性

‘大地の響き’は、8月どり、10月どりの何れの作型においても、L～2L規格中心であり、‘夏扇パワー’と比較して上物収量が優れた（図2）。

(3) 品質特性

‘大地の響き’は‘夏扇パワー’と比較し、8月どり、10月どりの何れの作型においても襟部の締まりが優れた（データ省略）。

表1 各年における収穫時の生育および残存率

作型	品種	2017				2018			
		草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g/本)	夏越し後残存率 ³⁾ (%)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g/本)	夏越し後残存率 ³⁾ (%)
8月どり ¹⁾	夏扇パワー	85.5	18.5	213.3	73.9	82.9	17.7	178.5	92.6
	大地の響き	92.3	18.9	225.9	83.8	82.9	17.4	170.6	87.9
10月どり ²⁾	夏扇パワー	93.5	19.0	235.6	95.2	88.3	16.9	169.6	42.0
	大地の響き	90.8	18.4	247.9	94.7	88.9	17.9	180.5	72.0

1) 2017年(播種日:1月25日 定植日:4月14日 収穫日:8月21日)、2018年(播種日:1月23日 定植日:4月18日 収穫日:8月27日)

2) 2017年(播種日:2月23日 定植日:4月25日 収穫日:10月16日)、2018年(播種日:2月20日 定植日:4月23日 収穫日:10月15日)

3) 夏越し後の株数/夏越し前の株数×100 (1m 3反復定点調査)

kg/a

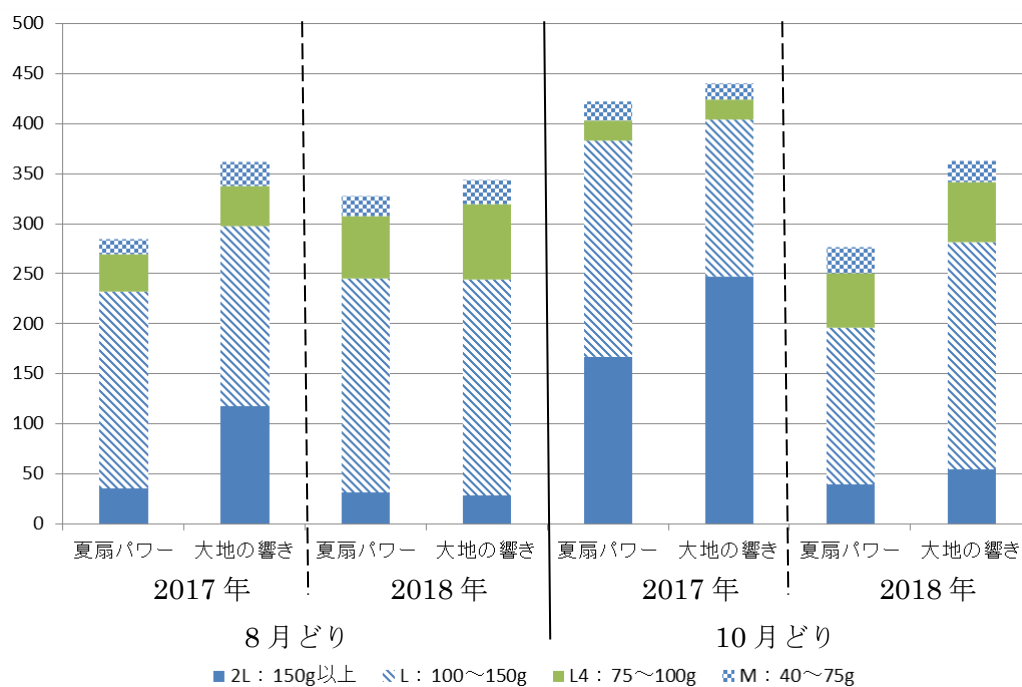


図2 規格別上物収量

3 普及の対象及び注意事項

(1) 普及の対象 弓浜砂丘地域 夏秋どり栽培地域

(2) 注意事項

高温期でも生育が進み、草丈が高くなるため、台風、強風による倒伏、曲りの発生に気を付ける。

4 試験担当者

弓浜砂丘地分場 研究員 梶本悠介
主任研究員 谷口美保*
分場長 中村博行
*現 日野総合事務所 日野振興センター